

自治会に加入し、災害に備えよう!



「東林間自治会ホームページ」 <http://www.higashirinkan.org/>

第183号
自治会 東林間自治会
法人
発行 田村 久司
編集 広報部
相模原市南区東林間4-32-5
TEL・FAX 742-8297
TEL 851-5010
印刷 南青史堂印刷 TEL 748-3921



東林間自治会 役員の募集

自治会役員になりませんか
自薦、他薦を問いません
事務所までご連絡ください

夏の
祭典

サマーわあ!ニバル

阿波
踊り



4年ぶり ヤットサー!
元気な地元連 ヤットサー!

長かったコロナ禍よ、さようなら。汗だくがいい。4年ぶりの阿波踊り・東林間サマーわあ!ニバルが晴天の8月5日(土)・6日(日)、東林間駅前大通りを中心に繰り広げられました。

地元5連の皆さんは日夜練習に励んでまいりました。参加友好連は2日間で総勢36連にのぼりました。上鶴間中学校の生徒有志は今年もサポーターとして夏の祭典に大活躍。(詳細は6面参照)

地元の連名・設立年次は次のようです。
東林間連・平成5年、ほたる連と佐楽連・平成12年、あうん連・平成14年、ひより連・平成21年、竜粋・平成28年

あうん連の連長大石方哉さんは「踊りさんのやる気が日に日に高まっています。踊り子さんのお子さんも連に加わっています。あうん連という名は全国でここだけ。東林間神社の両脇にある邪気を祓う狛犬(獅子)をイメージし、縁起の良い名にしました。あうん連の特徴は笛の自作曲数の多さ。家内が笛を吹くので二人三脚で作曲しています。あうん連のモットーは「楽しくやること」。楽しく踊れば、見てくれている人にも元気を与えられます」と総括してくれました。

これらの地元連の他に、にわか連の参加もあり、地域あげての盛大な夏の祭典でした。

中高年対象

ふれあい交通教室



自治会主催の第1回中高年対象ふれあい交通教室が曇天の6月23日(金)、自治会館2階で開催。

講師は南警察署交通総務課高橋新さん。参加者は一般会員28人、区長さん15人、本部役員11人、活動協力員4人の合計58人。

高橋さんのお話の主な内容は管内の交通事故の特徴、自転車の通ルールと運転上の注意点でした。

その1・管内の交通事故の特徴

神奈川県における令和4年次の過失による交通事故発生件数は約2万1千件。その中で南警察署管内の状況をみれば、交通事故件数が813件で県下ワースト3位。高齢者による事故が272件で県下ワースト4位。自転車事故が274件で



プロジェクターを使った分かりやすい説明
ありがとうございました

ワースト2位。管内の交通事故の特徴は今までも指摘されていた自転車事故の多さにありました。

その2・自転車交通ルール

- ・車道通行が原則。
- ・車道の左側通行。
- ・交差点で一時停止、信号に従う。
- ・夜間にライトをつける。
- ・飲酒運転の禁止。
- ・自転車用ヘルメットの着用。事故時の頭部衝撃を吸収する効果があります。

その3・運転上の注意点

- ・交差点では二段階右折する。
- ・信号機のない横断歩道で歩行者が渡ろうとするとき停止する。神奈川県全体の横断歩道停止率は昨年34%。(全国40%)
- ・コンビ二、ガソリンスタンドの出入り口の交通事故が多いので注意が必要。
- ・子どもが自転車で道路を急に横断。自動車運転手は事故を避けるためハンドルを切り、歩道の歩行者を死亡させた。この場合、監督義務違反で親に約9・5千万円の支払い判決。家族の話し合いが大切です。
- ・自転車保険に加入しよう。自動車保険に付いていることもあります。
- ・電動キックボードについては7月から①時速20km以下②16歳以上③無免許④原則車道の左端走行⑤ナンバープレート、ウインカー装備⑥ヘルメット着用努力義務などで乗れます。停止時に両足で着地するなど注意が必要です。

第2回区長会



無線機操作の訓練

第2回区長会が曇天の7月8日(土)、自治会館で開催されました。参加者数は53人。(参加率62%)

(1) 報告事項

・敬老のお祝いの手続き

喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿百寿の該当者は班長さんへ申し出てください。班長さんは名簿を作成し、7月25日まで区長さんへ提出してください。区長さんは預かった名簿を7月31日(月)まで事務所へ提出してください。お祝い品(東林間商店街商品券)は9月初旬に区長さんへ配布されます。その後、商品券は区長さん↓班長さん↓該当者という流れで該当者にわたります。

・その他

自治会事務所の夏季休暇は8月11日(金)〜8月17日(木)です。今回の区長会は10月14日(土)10時から

ら自治会館の予定。クリーンデーなどの活動開催日の報告もありました。

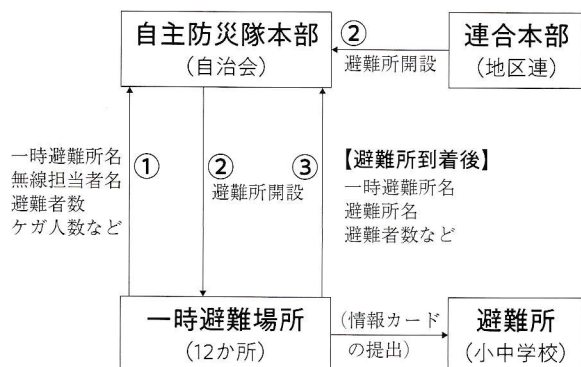
(2) 無線機操作訓練

この訓練では第1回区長会に配布された『令和5年度防災活動計画』をもとに行われました。(図)

震度5強以上の地震発生の際、災害の推移を見守るため自宅近くの公園などに一時避難場所が選定(12か所)。訓練時に住民は一時避難場所に集合します。発災時でも住民の要望から最低1回はそこへ集合します。一時避難場所の正、副責任者は区長さんの中から輪番で選出されます。

訓練は担当の副責任者が無線機を操作し、一時避難場所名、担当者名、避難者数などを自主防災隊本部(自治会)へ通信しました。(上段写真)避難所到着後の本部への連絡は秋の防災訓練で行われる予定です。

無線情報の流れ



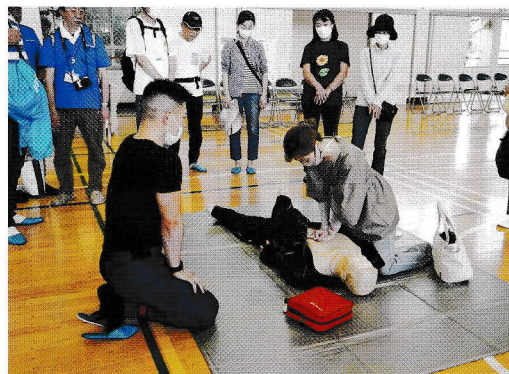


第4回東林地区 防災体験デー

防災体験デーが曇天の6月25日（日）、東林小学校で行われました。

この体験デーの目的は、大規模な震災が発生したときに備え、東林地区の自主防災力の向上を図るためです。特徴は自治会、避難所の防災訓練に比べより専門的な体験をすること。主催者は東林地区連合自主防災隊（東林地区自治会連合会）。参加者は傘下16自治会中7自治会。東林間自治会から18人が参加しました。

開会式で田村地区連会長から「阪神淡路大震災で家や家具の下敷きになって救出された2・5千人のうち84%が近所の人々によるもの（生存率80%）、残りの16%が消防・警察・自衛隊によるもの（生存率50%）」と共助の重要性を説かれました。



♪もしもしカメよカメさんよ♪
のリズムでAED体験



段差の上り下りを体験しました

参加者全員が4つのグループに自治会ごとに分かれ以下の2つのセット化された防災内容を体験しました。

心肺蘇生法・AED体験

心肺蘇生法体験では①周囲の安全確認②被災者の意識確認③呼吸確認④消防署へ通報⑤心臓マッサージ30回⑥人工呼吸⑦消防署員が来るまで⑤⑥を繰り返すという体験でした。AED体験では機器から伝わる音声の指示に従い①AEDの電源を入れる②肩、心臓、脇腹が直線になるように肩と脇腹にパッドを貼る③パッドに繋がっているコンセントをマッサジャー（本体）へ入れる④衝撃波が伝わる⑤心臓マッサージ⑥電源を切るという動作体験でした。（上段写真）

車椅子・初期消火体験

車椅子体験ではまず段差を上るとき①手のひらをHの字にして座位を開く②椅子両側のブレーキをかける



火事だー！と大声発生 初期消火に努めよう

③足踏みペダルを立て座ってもらう④ペダルを戻しブレーキを外す⑤段差手前で止まり、両タイヤの内側にあるバーを足で踏み椅子を斜めにする⑥段差を乗り越え、椅子の傾斜を戻す。（中段写真）

段差を下るとき①声掛け後バッククシ段差を下りる②両タイヤの内側にあるバーを足で踏み椅子を斜めにする③バック後車椅子の傾斜を戻すというものでした。車椅子体験ではとくに両輪内側にあるバーを足で踏んで車椅子を傾けると力をかけずにスムーズにできました。

最後の消火器による初期消火体験は参加者が「火事だー」という大声を発生し、標的の約5m前で消火器の止めピンを抜き、目標めがけて3m前まで近づきながら消火するというものでした。（写真）

災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。体験や訓練は必要です。

第2は寝室、窓の付近などの危険と思われる場所にできるだけ物を置かないことです。

第3はタンス、テレビ、冷蔵庫に倒れ防止の金具を着装しています。

第4は緊急用に若干の飲料水を確保しています。



L字型金具でタンスを固定

★ その20 ★

わが家の 防災対策



上鶴間7丁目にお住いのHさんは自動車関連の会社を営む傍らボランティア活動に取り組んでいます。H家は近年建てた住宅（耐震耐火構造建築物）にご夫婦2人で生活されています。

H家の防災対策は、いつ災害が起こるか分からないことを念頭に以下のようです。

第1は災害で家屋が倒壊したとき、避難できるように玄関などの出入口（避難路）を確保していることです。

第2は寝室、窓の付近などの危険と思われる場所にできるだけ物を置かないことです。

第3はタンス、テレビ、冷蔵庫に倒れ防止の金具を着装しています。

第4は緊急用に若干の飲料水を確保しています。

令和5年度第1回目の除草作業が曇天の5月21日(日)、東林間1丁目緑地で行われました。参加者は自治会役員13人、企業ボランティア4人の合計17人でした。今回は早期に除草作業に取り組んだこともあって、雑草の量は少ない方でした。それでも緑地面積が広いので参加者は汗を流しました。参加者が力を合わせて除草作業に取り組んだ結果、東林間1丁目緑地は風通しと見通しが大幅に改善されました。

2回目の除草作業は7月23日(日)、東林間ふれあい広場で行われる予定でした。しかし連日の猛暑・酷暑のため延期になりました。



効率よく除草作業が行われました
お疲れさまでした

風通しが良くなった 除草作業



草花の植え替え



草花の植え替え活動が曇天の6月10日(土)、ボケットパークで開催。予定では11日(日)でした。しかし、当日は雨天との天気予報のため前倒しに。急な日程変更のため、都合をつけた「有志」の役員11人が参加しました。

花壇は冬春用の草花から赤のサルビア、黄色のマリーゴールド、白、ピンクのニチソウなどの夏秋用の草花に植え替えられ、きれいになりました。その周囲に植栽されているドウダンツツジも刈り込まれスッキリしました。第4公園にも同様の草花が植え替えられました。



美しい草花の植え替えて心も晴れやかな「有志」。

葛茎の除去作業

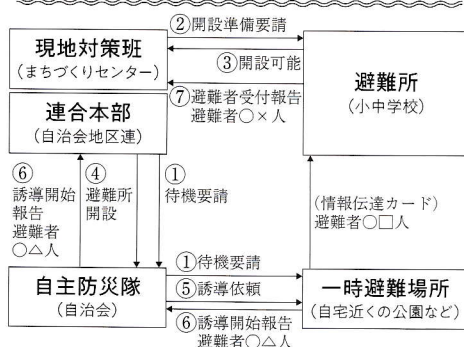


見通しが良くなりました

葛(くず)の木は三角公園周囲に十数か所あります。その茎は年間約10mも伸びます。昨年、三角公園と小田急江ノ島線の境界部分にあるネットフェンスが葛で全面的に覆われ、外側から公園内が見えなくなりました。防犯や景観的に放置できず、茎の剪定を。ネットフェンスに絡みついた葛茎は枯れました。

今年5〜8月に毎月1回のペースで自治会が伸びだした茎の剪定とネットに絡みついた枯れている茎の除去作業を行いました。この作業は小田急江ノ島線側の低めの金網フェンスと三角公園側の高さ3mほどのネットフェンスの間、幅約1m、先行100mほどの足元の不安定な所で行われます。作業の結果、見通しが良くなりました。(写真)この作業は来年度以降も毎月必要です。

大規模地震発生時における無線情報の流れ



注:東林地区まちづくりセンター
『令和4年度東林地区防災訓練合同会議』5〜8頁より作成。

一方、避難所は準備終了後、現地対策班へ開設可能と伝えます。その後、現地対策班は連合本部、自主防災隊(自治会)経由で一時避難場所へ避難誘導を依頼。一時避難場所へ避難前に自主防災隊へ誘導開始と避難者数を伝達し、到着後、避難所へ避難者数を伝えます。避難所は現地対策班へ受入避難者数を報告。関係者は避難者数を把握し、その後の対応に活かすことになります。

大規模地震発生時の 無線情報伝達システム



大規模地震発生時、電話、電子メールがつながりにくいので無線機通信の出番。その流れは次のようです。まず現地対策班(まちづくりセンター)は避難所へ開設準備を要請(図)次に現地対策班は連合本部(自治会地区連)経由で一時避難場所へ待機要請します。



訓練参加 長い行列ができました

放水・車椅子訓練

スタンドパイプを用いた放水訓練と車椅子による避難訓練が曇天の5月27日(日)、林間公園で4年ぶりに開催。参加者は区長さん11人、一般会員50人(うち子ども3人)の他、消防関係者5人、社会福祉関係者2人、自治会役員13人の計81人。

放水訓練では、消防署東林分署の小泉さんから初期消火の大切さのお話がありました。家庭では消火器を用いる他、三角バケツ、食器などで初期消火します。

一方、地域ではスタンドパイプを用いて初期消火します。消防署で用いる消火用ホースは口径65mmです。自治会で用いるホースは口径40mmです。



鶴の台小学校歩道橋の傾斜歩道を用いた車椅子防災訓練

これはより軽量でかつ使用しやすいものとなっています。スタンドパイプは口径65mmから40mmへ変換する装置です。多くの参加者が体験しました。(上段写真)

このスタンドパイプと消火用ホースは一部の防災倉庫に格納されています。区長さんが防災倉庫を開けることができます。

車椅子による防災訓練では大地震発災時に踏切が使えないことを想定し、アンダーパス(傾斜歩道)を使ったものでした。対象者は自分で避難することが困難な人(要援護者)を想定。20台の車椅子を用い、2人1組で行われました。(写真) 地域包括センターの草柳さんから、対象者へ声がけしてから操作することなど具体的な車椅子の使い方のお話がありました。



スーパーボウルすくい、ヨーヨー釣りに興じる子ども達

東林間西口祭りが7月22日(土)、23日(日)の午後2時から8時まで行われました。22日は関東地方で梅雨明け宣言。西口祭りはコロナ禍で4年ぶりの開催。この祭りは子ども達に人気があります。

大々的な宣伝がなくても子ども達は夏休みが始まり解放された気分で参加。22日午後2時半ごろには人だかりができました。3時ごろからとーりん鼓笛隊のパレードがあり、祭りを盛りあげました。

参加した子ども達に、この祭りをどこで知って来たの、と尋ねたところ①保護者、友達から聞いての他に②中学校、塾の掲示板を見て③道路通行止め予告の看板を見てというものもありました。



老いも若きも輪になって伝統の盆踊り



J.A.盆踊り大会が7月22日(土)、J.A.駐車場で4年ぶりに開催。西口祭りに加えての盆踊り大会で夏祭りムードがさらに盛りあげられました。

開催時間は午後7時から9時頃まで約2時間。J.A.婦人会のメンバー約30人が踊りの先導役・リーダーに。参加者が加わり、やぐらの周りに大きな輪ができました。

夜空に鳴り響くやぐら太鼓の演奏はベテランの安斉隆・磯貝智子さんのほか鈴木征人さんが担いました。

盆踊りの曲目は新相模原音頭を始め馴染みの炭坑節、東京音頭、相馬盆唄。7時45分からの15分間こども阿波踊り(あうん連)が参加。大会に花を添えました。やぐらの前で記念写真を撮る家族連れも見られ、真夏の夜の楽しい盆踊りでした。

着任紹介

コミュニティ活性化に向けて

東林まちづくりセンター所長

齋藤満里子



4月に着任しました。東林間自治会の皆様には、自治会活動を始め地域のまちづくりにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

また、このたびは新しく立派な自治会館が開館の運びとなり、心よりお喜び申し上げます。自治会活動や行事、災害時の拠点として皆様に末永く利用されることと存じます。

さて、東林間自治会は約4千7百世帯の東林地区最大の自治会であり、住みよいまちづくりのために防災、防犯、環境など様々な活動を行っています。

そしてこの夏は、地域のお祭りが賑わいを見せており「サマーわぁ！ニバル」や「ふるさとまつり」も開催されます。以前のような交流の場が戻ってきて、皆様の笑顔で東林間地区が盛り上がるのは本当に嬉しいことです。

東林まちづくりセンターといたしましても、自治会と地域振興の支援に今後も取り組んでまいります。

新役員紹介

分かりやすくお伝えします

ホームページ運用部副部長

田村晃一郎

私はホームページ運用部担当前まで自治会の活動内容をあまり知りませんでした。自治会活動はゴミだしや防犯など私たちの生活に関係する身近なものです。その視点から分かりやすくホームページでお伝えできるよう取り組みます。

10周年を迎えた

上鶴間
ラジオ体操会



故福島康人元東林間自治会長が立ち上げた上鶴間ラジオ体操会が10周年を迎えました。8月2日(水)のラジオ体操後、1時間ほど会員と子ども達約40人で心温まる祝賀会が開かれ、思い出話に花が咲きました。

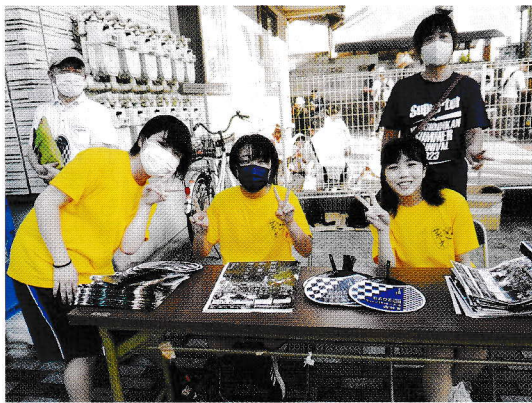


今朝も元気にイチ、二、サン

サマーわぁ！ニバル

我らサポーター

鶴中生ガンバル！



鶴中生の皆さん ありがとう！

上鶴間中学校生徒有志延べ40名は今年も東林間サマーわぁ！ニバルのサポーターとして参加しました。

初日の参加生徒は1年生4人、2年生6人、3年生12人の合計22人。二日目は1年生10人、2年生1人、3年生7人の合計18人。この中で両日とも参加した生徒は12人でした。生徒達は地域の指導者のもと案内・落し物、放送、ゴミステーションの活動を担いました。

案内・落し物班は会場場所などを示したパンフレットなどを参加者

自治会役員も活躍

自治会役員・協力員は本部会場の受付・会計・筆耕の他に交通、警備、誘導、救護、清掃など多方面でサポーターとして役割を担いました。

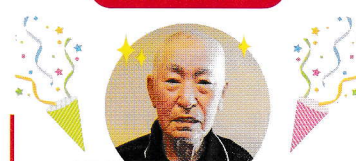
とくに交通の分野では早朝7時にコインランドリー東林間店に隣接する駐車場に集まり、交通整理に必要な資材を積み込み・設営・回収しました。(写真)



早朝からお疲れさまでした

に渡しました。放送班は主に各連の紹介原稿をアナウンスしました。ゴミステーション班は持ち寄られたられたゴミを予め用意したゴミ箱に分別して入れるよう指示しました。このように鶴中生は東林間サマーわぁ！ニバルのサポーターとして貢献し地域にとって必要な存在です。これからも中学生がわが故郷に誇りと自信を持てることを期待します。

長寿万歳!



大久保 貞夫さん 89歳

あゆみ

- ・出生地 茨城県土浦市
- ・誕生日 昭和8年11月1日

・主な学校と仕事

昭和28年、土浦第一高校(夜間)卒業、中央商科短大中退後、埼玉新聞に入社。結婚後、中日新聞へ転職(35年間)。平成6年、60歳で定年退職

・地域活動

平成6年民生委員(6年間)、東林間自治会広報部副部長、平成7年広報部部長(21年間)
令和5年から東林地区老人クラブ連合会東むつご会会長

・賞 罰

平成26年、神奈川県知事から環境美化で感謝状を受賞

広報部は、7月24日(月)、上鶴間7丁目にお住いの大久保貞夫さんにお話を伺いました。

小学校時代は戦時中

大久保さんは茨城県土浦市で昭和8年11月1日のお生まれです。

小学校2年の昭和16年に太平洋戦争が始まりました。力持ちの男性は軍隊に動員。小学校での勉強は代用教員から教わりました。

小学校のストープで弁当を温めていた中から、誰が入ってきたのか、お餅の焼ける臭いが立ち込め、ぜいたく品を食べる人がいるのかと、うらやましく思いました。

小学校6年の時、プラスバンドの一員として参加。英霊をお迎えしました。土浦には阿見飛行場があり、全国から集まった15〜17歳の少年が特攻隊の訓練を経て戦地へ。大久保少年はそれを眺めて過ごしました。

終戦・進学・就職

昭和20年8月15日に終戦。翌年、大久保さんは地元の中学に入り卒業後、地元の土浦第一高校へ進学。その後、中央商科短大に入学。商業に

興味を失せ中退後、埼玉新聞に就職。結婚後、中日新聞へ転職しました。

移 住

大久保さんは昭和35年に現在お住いの上鶴間に戸建ての居を構えました。建築代は28坪で80万円。平成6年に長年勤めた中日新聞を定年退職。コンピュータ導入で最後の活版印刷になったと述懐されていました。

地域活動

大久保さんは平成6年に東林間自治会広報部副部長と民生委員に。民生委員を6年間担当し、福祉活動に勤しむ傍ら「アコーデオンで歌う会」を結成。民生委員の仲間と6年間楽しみました。解散後も「県央アコーデオンサークル」に参加。年1回の発表会に向け目下練習中です。

平成7年に広報部長に。副部長時代を含めると22年間(60〜82歳)の長きにわたる広報活動でした。この間、広報紙『東りんかん ふれあいだより』の紙面をB5版からA4版へ拡大、白黒からカラーへ変更、頁数も4頁から8頁へ増やしました。

この「長寿ばんざい」も彼が生みの親です。大久保さんは現在の広報紙の礎を築いた方です。

近 況

広報部長時代に先述のアコーデオンの他に、コーラスの「音夢(ねむ)の会」に所属も解散。表千家茶道同好会には今も参加。多様な趣味の中で最も好きな趣味は麻雀。その話になると目が輝きます。

大久保さんは今年から東むつご会(老人クラブ)の会長に就任。

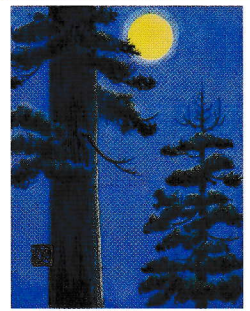
奥さまは5年ほど前から認知症を患い、圧迫骨折も。大久保さんは家事全般と介護で好きな麻雀をする暇はないと。そういうご本人も80歳代後半にガンと脳梗塞に。幸いにして早期対応、家族の協力、体力、適した薬により早期回復しました。健康の秘訣は特になく、規則正しい生活を続けることのようにです。

これからも健康に留意され、幸せにお過ごしください。



祝
奥さまを大切に
なさってください!

お知らせ



〈カット〉野浦正幸

第20回
こんにちは区長です

東6区 区長 嘉松 恵美

東6区は上鶴間中学校近くに位置し、4班65世帯で構成されています。退会された世帯もありましたが、1班に2世帯、3班に1世帯新しく加入されました。

私は初めて区長になりました。何もわからない私ですが、前区長さんや経験者が近くにいて声を掛けてくださるので、とても心強いです。

中学校プール側のごみ置き場のネットが古くなって近隣の方たちで交換してください、ネットも頑丈になりました。ここは利用者も多いですが、ゴミ出しも当番もきちんと守られているので特にトラブルもなく綺麗に保たれています。

クリーンデーは、かしわ公園が担当です。役員さん、班長さん、近隣の方たちなどが集まり、除草作業や清掃を行い、綺麗にしています。

挨拶や立ち話などでコミュニケーションが取れている地区ですので、これからもつながりを大切にしていきたいと思います。

在住画伯の絵
自治会館に展示



上鶴間6丁目に住んでおられた日本画家の大家、故岩橋英遠画伯の絵画が東林間自治会館1階に展示されています。(写真) この絵画は東林間開拓百周年(昭和62年)を記念し画伯から特別寄贈されたものです。これは地域の宝です。ゆつくりと観賞されてはいかがでしょうか。



野ぶどう

いわはしえい えん

岩橋英遠画伯の略歴

日本画家(明治36～平成11年)

- 明治36年 滝川市で生まれる
- 昭和43年 東京芸術大学教授
- 同年 相模原市へ転居
- 47年 日本芸術院賞受賞
- 56年 日本芸術院会員
- 61年 東京芸術大学名誉教授
- 62年 文化功労者
- 平成 6年 文化勲章受章
- 11年 相模原市で逝去。96歳

注:『ウィキペディア』などによる

行事予告コーナー

第3回区長会

日時 10月14日(土)午前10時
場所 自治会館

スポレク大会

日時 10月8日(日)午前9時
場所 東林小学校

東林地区防災訓練

日時 11月12日(日)
午前9時頃
場所 近くの公園・小中学校

少年対熟年野球大会

日時 11月18日(土)午前8時
場所 深堀中央公園

受賞

長岡彰氏

自治会監事の長岡 彰氏は令和5年6月に長年にわたる地域活動で相模原市自治会連合会会長から表彰されました。おめでとうございます。今後も健康に留意され、ますますのご活躍を期待いたします。



西日本、東北の豪雨をよそに関東は7月7日以降真夏日、猛暑日の連続。そこで一句「涼しげな朝顔打ち消すこの暑さ 先々いつまで続くことやら」

コロナ禍で3年間頓挫した地域行事。ようやく復活しました。喜ばしいことです。完全復活とはいえないまでも、まずはそれに近づけることです。秋以降、地域行事が目白押し。元気をだし、力を合わせて少しだけでも前に進みましょう。

広報部部長 日暮 賢司